

## 一般社団法人日本粘土学会 平成 30 年度第 4 回理事会議事録

日 時：平成 30 年 8 月 25 日（土）15:00～17:15

会 場：早稲田大学西早稲田キャンパス 62W 号館 1 階大会議室

出席者：理事(17名)：八田珠郎、千野裕之、小暮敏博、河野元治、伊藤健一、上原元樹、梅村泰史、蛭名武雄、大川政志、大河原正文、太田俊一、岡田友彦、篠原也寸志、高橋範行、田村堅志、丸茂克美、宮脇律郎

監事(2名)：月村勝宏、山崎淳司

理事以外の常務委員(5名)：小口千明、志々目正高、手束聡子、日比野俊行、鈴木憲子

事務局：川島朝子

欠席者：理事(12名)：會澤純雄、伊藤弘志、上原誠一郎、川俣 純、桑原義博、地下まゆみ、林 亜紀、前田雅喜、牧野知之、皆瀬 慎、和田信一郎、渡辺雄二郎

成立確認：理事総数 29 名の過半数 15 名、出席理事 17 名で理事会の開催は成立

### 審議事項

#### 1. 平成 30 年度事業報告（資料 1：平成 30 年度総会議案書（案）の第 1 号議案）

##### (1) 学術雑誌の編集と発行

1) 粘土科学：日比野編集委員長から資料を基に報告があった。

2) Clay Science：蛭名委員長から報告と以下資料の訂正があった。

平成 29 年 12 月を平成 29 年 8 月、平成 30 年 5 月を平成 30 年 3 月、平成 30 年 8 月を平成 30 年 6 月に訂正。

##### (2) 研究発表会・見学会等の開催

1) 第 61 回粘土科学討論会（富山大学）の開催：丸茂実行委員長から資料を基に報告があった。

2) 第 62 回粘土科学討論会（早稲田大学）の準備：山崎実行委員長から資料を基に報告があった。報告書の 6) の「USB」を「USB 作成」に、7) の準備中を削除の 2 点を訂正をした。

##### (3) シンポジウム・セミナーの開催

1) 第 61 回粘土科学討論会でのシンポジウム開催：田村企画委員長から資料を基に報告があった。

2) 第 62 回粘土科学討論会でのシンポジウム準備：田村企画委員長から資料を基に説明があった。

(4) 参考粘土試料：八田会長から資料を参考に報告があった。

(5) 広報：横山委員から資料を基に報告があった。本日ポスト討論会見学会について公開したことが報告された。

(6) 渉外：佐藤委員から資料を基に報告があった。

(7) 表彰：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

(8) 研究促進：八田会長から資料を基に報告があった。

(9) 庶務：篠原委員から報告があった。別紙として本日現在の会員数が報告された。

(10) 学会誌等の電子化：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

(11) 常務委員会および理事会：八田会長から資料を基に報告があった。

以上、審議の上承認された。

#### 2. 平成 30 年度収支決算報告及び監査報告（資料 2：平成 30 年度総会議案書（案）の第 1 号議

案)

志々目委員から資料に基づき、本年度決算は若干の黒字となつたことが説明され、次年度からはさらに改善される見通しであることが報告された。続いて山崎監事より、監査報告がなされた。以上、審議の上承認された。

3. 平成 31 年度事業計画（資料 3：平成 30 年度総会議案書（案）の第 3 号議案）

(1) 学術雑誌の編集と発行

- 1) 粘土科学：日比野編集委員長から資料を基に報告があった。
- 2) Clay Science：蛭名委員長から資料を基に報告があった。また以下の訂正があった。

(2) 平成 30 年 12 月を平成 30 年 8 月、平成 31 年 1 月を平成 30 年 12 月、平成 31 年 5 月を平成 31 年 3 月、平成 31 年 8 月を平成 31 年 6 月に訂正。

(3) 研究発表会・見学会等の開催

- 1) 第 62 回粘土科学討論会（早稲田大学）の準備と開催：山崎実行委員長から資料を基に説明があり、当日配布のプログラムへ 4 社の広告が掲載されることが報告された。
- 2) 第 63 回粘土科学討論会の準備：小口実行委員長から資料を基に報告があった。

(4) シンポジウム・セミナーの開催

- 1) 第 62 回粘土科学討論会でのシンポジウム開催：田村企画委員長から資料を基に報告があった。
- 2) 第 63 回粘土科学討論会でのシンポジウム準備：田村企画委員長から資料を基に説明があった。

(5) 参考粘土試料：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

(6) 広報：横山委員から資料を基に報告があった。

(7) 渉外：佐藤委員から資料を基に報告があった。

(8) 表彰：河野常務委員長から資料を基に報告があった。例年通りの方法で受賞者の推薦募集をする予定である。

(9) 研究促進：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

(10) 庶務：篠原委員から資料を基に報告があった。

(11) 学会誌等の電子化推進：河野常務委員長から資料を基に報告があった。

(12) 常務委員会および理事会：八田会長から資料を基に報告があった。

以上、審議の上承認された。

4. 平成 31 年度収支予算（資料 4：平成 30 年度総会議案書（案）の第 4 号議案）

志々目会計委員から資料 4 を基に説明があった。来年度はジャーナルの電子化や事務局移転といった特別支出がなくなるので、学術振興積立金からの受入収入が 60 万円から 10 万円に減額しているとの説明があり、備考に学術振興基金賞 2 件を明記することとした。また、Clay Science の電子化に伴い、Clay Science 掲載の広告を粘土科学誌に変更いただくこととした。以上、審議の上承認された。

5. 平成 30 年度総会の日時、場所、議案及びその内容（資料 5-1：平成 30 年度総会議案書（案）の第 5～8 号議案、資料 5-2）平成 30 年度総会議案書（案）

河野常務委員長から資料を基に説明があった。第 5 号議案本文上から 2 行目「理事候補者 29 名」を「理事候補者 28 名」に修正し、審議の上承認された。なお、河野常務委員長より、総会議案書の理事会承認を受けて、総会の案内と委任状を掲載した粘土科学誌の印刷・発送を開始し、さらに総会の案内と委任状を会員へ電子メール配信することが説明された。

6. 平成 30 年度総会の準備、進行、登記のスケジュール（案）（資料 6）

7. 河野常務委員長から資料を基に説明があり承認された。また、各担当委員への準備等の依頼がなされた。
8. 平成 30 年度表彰式の進行（資料 7）  
河野常務委員長より資料を基に説明があり、進行、担当等の審議の後承認された。
9. 第 62 回粘土科学討論会について（資料 1 および別途配付資料）  
山崎実行委員長より資料を基に討論会準備状況の説明があり、審議の上承認された。なお、今年度の見学会については討論会とは切り離して「ポスト討論会」として実施する旨の説明がなされた。なお、共催・協賛が少ないが承諾の返事がないので念のため除いてあり「他」としている旨の説明があった。

以上、審議の上承認された。

10. その他：

志々目会計委員から会費長期未納者の扱いについて発案があった。現在 3 年以上の未納者が 12 名おり、催促しても返信が無い。警告を発して、期限内に支払いが無い場合はリストを回覧して資格喪失を議論してはどうかという案が出された。会費を払って退会とするか払わずに資格喪失とするかを該当者に告知しなければならない。会員サービスの停止（会誌の送付や会員価格での学会参加など）については運用を決める必要があるとの意見が出され、継続して審議する必要がある。学会から正式な通知が届く前に対象会員を知っている理事は積極的に声をかけてみて欲しいとの要請があった。

報告事項

1. 特になし

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、会長及び監事がこれに記名押印する。

平成 30 年 9 月 5 日

一般社団法人日本粘土学会 理事会

会 長 八 田 珠 郎 ㊞

監 事 月 村 勝 宏 ㊞

監 事 山 崎 淳 司 ㊞